

1-A-12.

配送センターからの小口配送の異業種間共同化

<ユニ・チャーム(株)>

1. 概要

項目	内容
物流共同化のタイプ	異業種との配送の共同化
主な対象貨物	日用雑貨
導入時期	1988年

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 物流コストの削減
- ・ 輸配送の効率化
- ・ 荷受負担の軽減

2) 狙い

- ① サービスレベル向上
 - ・ 納期の明確化と物流品質の向上
 - ・ 顧客の荷受け軽減ニーズへの対応
- ② コスト低減
 - ・ 小口注文への路線、宅配からの切替え
 - ・ 共同化による車積載率の向上

3. 対策効果

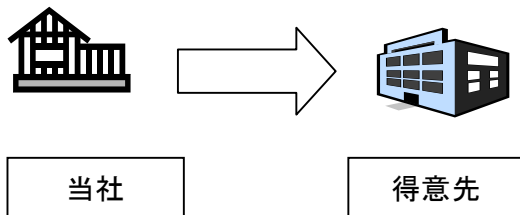
- ① 午前受注の翌日納品(時間指定、置場指定にも極力対応)
- ② 誤遅納件数の減少
- ③ 5~10%コスト削減

4. 事業内容

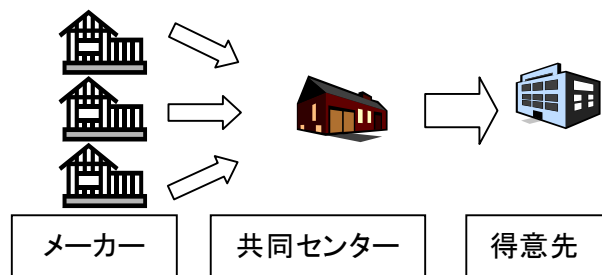
共同配送センターから共同配送

対策実施前後の共同物流フロー

実施前



実施後



5. 課題

共同センター選定調査が重要なポイント(配送サービス)